

『Mind Charging』

第 118 回 発行：入試広報室 発行日：令和 2 年 9 月 23 日

タモリ(森田一義)の名言



まあ、私も結構活躍してるみたいなんですけども、
宇宙から見たらもうどうでもいいですね。

以前は『笑っていいとも!』の司会として毎日“お昼の顔”となっていました。現在も様々な番組に出演して活躍し続けています。そして、この言葉からも伝わってくる“緩さ”が非常に程よく、肩の力を抜いてゆっくり話を聞くモードに導いてくれる癒しの存在です。

この言葉からタモリさん自身の活躍を謙遜している部分や、キャラクター的に『そういうことには興味がありません』といった気持ちが受け取れますが、それだけでは非常に厳しい世界と言われている芸能界においてここまでの“確固たる地位”を確立することはできないでしょう。緩さの中にも細やかな気遣いがあるでしょうし、やはり『ハングリー精神』による大きなエネルギーが本人の中にあるはず。そういう意味ではこの言葉は“宇宙”という壮大なスケール感を引き合いに出すことで照れ隠しをしながら、『まだまだ私はこんなものではないですよ!』という宣言にも受け取れます。

人それぞれ目標も生きていく舞台も違う中で、社会人であればその人の肩書から受ける注目度や収入など、学生で言えば学校のブランド力などによって比較され、“優劣”がつけられることがあります。しかし、本来は優劣をつけるところではないと思います。不安にもなりますし、『今の自分の位置はどのくらいのところにあるのか・・・』ということは、非常に気になります。大前提として、『自分の軸』があることが重要です。“あるべき姿”を見極めたうえで、しっかりと“なりたい自分”を追求していきたいものですね。(編集委員：入試広報室 鈴木)

タモリ(1945年(昭和20年)8月22日 -)は、日本の男性お笑いタレント、漫談家、司会者。本名は森田 一義(もりた かずよし)。福岡県福岡市南区市崎出身。田辺エージェンシー所属。ビートたけし、明石家さんまと共に、日本のお笑いビッグ3の一角を担う。太平洋戦争終戦から一週間後の1945年8月22日に福岡県福岡市に生まれる。後にタモリ本人が2018年5月25日放送の「プラタモリ」の番組内で語ったところによると、本名の「一義」は、祖父が尊敬していたという政治家・田中義一から名前をもらおうとしたところ、上下の画数の差が大きき「頭でっかちな子供になる」という理由で上下ひっくり返して「一義」にしたものだと言われる。(Wikipedia 参照)